

金曜日 1 講時

面接/Face-to-face

学則第 9 条の 5 対象：対象外/Not Applicable

Article 9-5 of the Undergraduate Regulations applies

10403312-019

○ 3 年次演習関連科目 1-19 (国際マネタリーエコノミクス 2)

2 単位/Unit 春学期/Spring 今出川/Imadegawa 講義/Lecture

Third Year Advanced Seminar 1-19 (International Monetary Economics 2)

杉本 篤信

<概要/Course Content Summary >

経済のグローバル化が進み、一国経済の動向や経済政策を考察するのにも、対外的な相互依存を理解することが必要となってきた。特に、国際収支、外国為替取引についての制度、理論的知識は必須となってきた。本講義では「国際マネタリー・エコノミクス 1」での講義に基づき、為替レートと国際収支との関連、開放経済下のマクロ経済政策、国際資本市場、通貨危機などを中心に講義する。基本的な国際収支、為替レートの理論を前提に講義を進めるので（適宜学生の理解度の確認、復習は行うが）、各自「入門国際金融」（テキスト第 1～第 7 章の部分）は復習しておいてください。

<到達目標/Goals,Aims >

国際収支、外国為替取引に関する知識をもち、現実の経済の動向を理解できるようになること

< DO Week 期間の初回動画等の配信/The delivery of the first video, etc. during the “DO Week” >

あり / Deliver the video

・初回授業動画

<https://doshisha.ap.panopto.com/Panopto/Pages/Sessions/List.aspx?folderID=a444a57c-e92e-415b-b6d3-b13c000e55da>

公開期間は 4 月末までとする。

<授業計画/Schedule >

実施時期/Week	授業回/Number of Lesson	授業実施方法/How to Conduct a Lesson	授業実施時間数/Class Hours
	内容/Contents		
	授業計画外の学習/Assignments		
第 1 週 DO Week	1	オンデマンド（動画視聴）/On-demand(watching video)	90 分/min.
	はじめに（基本的理論の復習と講義内容について）		
	2 年次演習関連科目の復習		
第 2 週	2	面接/Face-to-face	90 分/min.
	外国為替市場介入政策		
	テキストの該当部分の予習		
第 3 週	3	面接/Face-to-face	90 分/min.
	ポートフォリオ・バランス・アプローチ		
	テキストの該当部分の予習		
第 4 週	4	面接/Face-to-face	90 分/min.
	為替レートと国際収支調整（1）弾力性アプローチ		
	テキストの該当部分の予習		
第 5 週	5	面接/Face-to-face	90 分/min.
	為替レートと国際収支調整（2）アブソープション・アプローチ		
	テキストの該当部分の予習		
第 6 週	6	面接/Face-to-face	90 分/min.
	為替レートとマクロ経済（1）ケインズ派と古典派		
	テキストの該当部分の予習		
第 7 週	7	面接/Face-to-face	90 分/min.
	為替レートとマクロ経済（2）開放経済下のマクロ経済政策		
	テキストの該当部分の予習		
第 8 週	8	面接/Face-to-face	90 分/min.
	国際資本移動と国際資本市場（1）資本移動の経済的意義		
	テキストの該当部分の予習		
第 9 週	9	面接/Face-to-face	90 分/min.
	国際資本移動と国際資本市場（2）資本移動の実態と国際資本市場		
	テキストの該当部分の予習		

第 10 週	10	面接/Face-to-face	90 分/min.
	国際収支危機（１）債務危機		
	テキストの該当部分の予習		
第 11 週	11	面接/Face-to-face	90 分/min.
	国際収支危機（２）通貨危機		
	テキストの該当部分の予習		
第 12 週	12	面接/Face-to-face	90 分/min.
	国際収支危機（３）第 1 世代モデルと第 2 世代モデル		
	テキストの該当部分の予習		
第 13 週	13	面接/Face-to-face	90 分/min.
	新国際通貨制度の枠組み（１）IMF の役割と問題点		
	テキストの該当部分の予習		
第 14 週	14	面接/Face-to-face	90 分/min.
	新国際通貨制度の枠組み（２）ユーロ危機とその対応		
	テキストの該当部分の予習		
授業期間終了後/ After the Class Period	15	オンデマンド（動画視聴）/On-demand(watching video)	90 分/min.
	まとめ（テスト）		
	今までの復習		

受講者の理解度により、一部変更する可能性があります。テストでは、持ち込み参照がありますので、用語などを暗記するより、ロジックを理解することに心がけてください。2 年次演習関連科目での内容を習得していることを前提にしています。単位が取れていない方は、「為替レート決定理論」、「国際収支とマクロ経済との関連」についてあらかじめ学習しておくことが望ましい。

授業実施方法/How To Conduct a lesson	授業実施時間数/Class Hours
面接/Face-to-face	1170 分/min.
オンデマンド（動画視聴）/On-demand(watching video)	180 分/min.
オンデマンド（授業内課題）/On-demand(assignment in class)	0 分/min.
リアルタイム配信/Real-time online	0 分/min.
その他/Others	0 分/min.
総合計/Totlal Amount class hours	1350 分/min.

アクティブラーニング/Active Learning

発見学習 / Discovery Learning, 調査学習 / Research Based Learning, ディスカッション / Discussion

使用システム/System tools

e-class

<成績評価基準/Evaluation Criteria>

小レポート 25%

提出, 内容理解度

小テスト 25%

講義内容の理解度

期末試験 50%

講義内容の理解度

適宜, 理解度を確認するため, レポート, 小テストを行います。

<テキスト/Textbook>

高木信二『入門国際金融』第 4 版（日本評論社, 2011）

<参考文献/Reference Book>

藤井 英次『コア・テキスト国際金融論』第 2 版（新世社, 2014）

講義中に指示します。

<連絡方法/Contact method >

科目担当者への連絡方法/Contact method from student to instructor

e-class

科目担当者からの連絡方法/Contact method from instructor to students

e-class

<備考/Remarks >

授業形態：対面